

TOKYO職人による実演

日付	工芸品名	職人名	実演内容
10/15(金)	東京銀器	上川 善嗣	加飾・鍍金工程
10/16(土)	東京彫金	小川 真之助	タガネによる金属彫刻
	江戸表具	高橋 育実	掛け軸またははがき掛けの仕上げ
10/17(日)	東京彫金	小川 真之助	タガネによる金属彫刻
10/18(月)	東京彫金	小川 真之助	タガネによる金属彫刻
10/19(火)	江戸更紗	中條 康隆	サブバッグ染色
	東京くみひも	福田 隆太	組紐の作製(丸大・御岳組)
10/20(水)	江戸更紗	中條 康隆	サブバッグ染色
	江戸刺繍	廣瀬 祥子	刺繍の製作

日付	工芸品名	職人名	実演内容
10/21(木)	東京額縁	栗原 大地	東京額縁の製作
10/22(金)	江戸木目込人形	柿沼 利光	木目込人形製作(着せ付け)
	東京くみひも	福田 隆太	組紐の作製(丸大・御岳組)
10/23(土)	東京額縁	栗原 大地	東京額縁の製作
10/24(日)	江戸表具	高橋 育実	掛け軸またははがき掛けの仕上げ
10/26(火)	江戸木目込人形	柿沼 利光	木目込人形製作(着せ付け)
10/28(木)	東京銀器	上川 善嗣	加飾・鍍金工程

進化せよ、伝統美。

TOKYO職人によるミニセミナー

東京の伝統工芸品の歴史や特徴などについて、今回出展している職人さんたちにわかりやすくお話をさせていただく「ミニセミナー」を実施いたします。

日付	工芸品名	職人名	セミナー内容
10/15(金)	東京銀器	上川 善嗣	江戸に根付く銀器の文化
10/16(土)	東京彫金	小川 真之助	東京彫金の技法と製作工程
10/17(日)	江戸硝子	野崎 宏祐 増田 早紀	江戸硝子の多彩な製法について
10/18(月)	東京彫金	小川 真之助	東京彫金の技法と製作工程
10/19(火)	東京くみひも	福田 隆太	組紐の歴史と今後の展望
10/20(水)	江戸刺繍	廣瀬 祥子	刺繍で使用する糸について
10/21(木)	東京額縁	栗原 大地	東京額縁の魅力とは

日付	工芸品名	職人名	セミナー内容
10/23(土)	東京額縁	栗原 大地	東京額縁の魅力とは
10/24(日)	江戸硝子	野崎 宏祐 増田 早紀	江戸硝子の多彩な製法について
10/25(月)	東京銀器	上川 善嗣	江戸に根付く銀器の文化
10/26(火)	江戸木目込人形	柿沼 利光	江戸木目込人形の歴史と節句
10/27(水)	東京銀器	上川 善嗣	江戸に根付く銀器の文化
10/28(木)	東京銀器	上川 善嗣	江戸に根付く銀器の文化

●会期中、14時より開催予定



TOKYO職人による製作体験

東京の伝統を担っている若手職人さんたちが簡単にできる作品をわかりやすく製作指導します。

◆東京銀器 上川 善嗣
実施日:10/15(金)・25(月)・27(水)
開始時刻:①11:30 ②15:00 ③18:30
体験内容:銀のしおりの模様づけ
所要時間:約45~60分
対象年齢:制限なし、保護者と一緒ならお子様も可
参加費用:2,000円(税込)

◆江戸更紗 中條 康隆
実施日:10/19(火)・20(水)
開始時刻:①11:30 ②15:00 ③18:00
体験内容:型紙を重ねての染付け
所要時間:約10~40分
対象年齢:制限なし
参加費用:2,200円(税込)

◆東京くみひも 福田 隆太
実施日:10/22(金)
開始時刻:①11:30 ②13:00
体験内容:くみひもミサンガ
所要時間:約45分
対象年齢:制限なし
参加費用:3,300円(税込)

◆江戸刺繍 廣瀬 祥子
実施日:10/23(土)
開始時刻:①11:30 ②13:00 ③15:00 ④16:30
体験内容:平織い、まつり織いの刺繍
所要時間:約40~60分
対象年齢:小学生以上
参加費用:くるみボタン 中1,500円(税込) 大1,700円(税込)

◆東京銀器 矢吹 晶広 / 中野 隆行
実施日:10/17(日)・24(日)
開始時刻:①11:30 ②13:00 ③15:15 ④16:30 ⑤17:45
24日(日)は③④⑤のみ
体験内容:鍍金スプーンの模様づけ
所要時間:約30~45分
対象年齢:保護者と一緒ならお子様も可
参加費用:4,000円(税込)

◆江戸表具 高橋 育実
実施日:10/16(土)・24(日)
開始時刻:①11:30 ②13:00 ③15:30 ④17:00
24日(日)は①②のみ
体験内容:からくり屏風の製作
所要時間:約30分
対象年齢:制限なし
参加費用:1,000円(税込)

●製作体験には限りがありますのでご予約ください。尚、当日空きがあればご参加いただけます。

体験のご予約の際は右記までご連絡ください。 伝統工芸青山スクエア TEL:03-5785-1301

●感染状況により、営業時間が変更になる場合がございます。その際、17:00時以降の製作体験は中止とさせていただきます。

お問い合わせ先

公益財団法人 東京都中小企業振興公社 城東支社
〒125-0062 東京都葛飾区青戸七丁目2番5号 TEL.03-5680-4631
東京都産業労働局 商工部 経営支援課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 TEL.03-5320-4659



若き匠が魅せる技のチカラ

TOKYO職人展

工芸に息吹をあたえる手仕事の極み

令和3年 10月15日(金)・10月28日(木) 11時▶19時 [初日は12時から/最終日は18時まで]

伝統工芸 青山スクエア 1階特別展スペース | 東京都港区赤坂8-1-22 1F

江戸木目込人形 Edo Kimekomi Ningyo	東京銀器 Tokyo Ginki	東京額縁 Tokyo Gakubuchi	江戸更紗 Edo Sarasa
東京くみひも Tokyo Kumihimo	江戸刺繍 Edo Shishu	東京彫金 Tokyo Chokin	江戸硝子 Edo Garasu
			江戸表具 Edo Hyogu

主催/東京都、一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 後援/東京都伝統工芸品産業界団体青年会

江戸木目込人形
Edo Kimekomi Ningyo

柿沼利光
Takanasu Katsunaga

造形や生地にインスパイアされ可能性を探る



人形の原型に細い溝を彫り、そこに衣装の生地をはさま込んで作る「江戸木目込人形」。製造部門の責任者の高齢により家業を継ぎ、節句人形をはじめ、招き猫やトレイといった日常使いできる商品にも取り入れ、「木目込み技法」の可能性を広げている。海外で注目される機会も増え、「KIMEKOMI」を国際的な共通語にするのが夢。



木目込みトレイ

連絡先 〒343-0857 埼玉県越谷市新越谷1-21-11
株式会社柿沼人形 越谷工房
TEL.048-964-7877

東京銀器
Tokyo Ginki

上川善嗣
Yoshikazu Kanakawa

幼いころの温もりある金槌の音色が原点



江戸の昔から続く銀師(しろがねし)と呼ばれる銀細工職人。銀器作りを家業とする家に生まれ、祖父の膝元で優しく響く金槌のリズムを聞き、銀師としての心得や職人技に触れてきた。美しさはもちろん、実用的に末永く使える「用の美」は銀器をはじめとする日本の伝統工芸品の真髄。それを若い世代にも伝えたいと幅広く活動する。



銀製ペンダント

連絡先 〒111-0055 東京都台東区東三筋1-3-13伊藤ビル1F
有限会社日伊伸金属
E-mail:info@nisshin-kikinzoku.com

東京銀器
Tokyo Ginki

矢吹昂広
Takano Yohki

新しい技術を探り、さらなる完成度の高みへ



根っからのモノ作り好き。仕事にしたいと魅了されたのは銀の工芸品。地金を曲げ、溶接して箱、置物、アクセサリなどを作る「寄せ物作り」を手掛けている。デザインや形状へのこだわりはもちろんのこと、使い心地のよさにも妥協を許さず、完成度を追求し続ける。新しい技術を取り入れることにも貪欲で、目指すは伝統工芸士。



銀製箱物一輪押し

連絡先 〒336-0035 埼玉県さいたま市南区松本4-13-8
TEL.048-844-5858
E-mail:info@hyakumu7.com

東京くみひも
Tokyo Kumihimo

福田隆太
Kyota Taketa

頭の中を組紐で描き出す「ハイブリッド職人」



幼い頃から組紐に親しみ、自然な流れで家業を継いだのは、装飾品としてだけでなく伸縮性や堅牢性など、和装の粋にとどまらない可能性を感じたから。紐を組むだけでなく、企画・デザインも自ら行う若き「ハイブリッド職人」は、有名ブランドのインсталレーションを手掛けるなど、江戸前の粋な心と行動力で組紐の世界を広げている。



袴 koshirae

連絡先 〒103-0008 東京都中央区日本橋富洲町4-11
株式会社職工房 TEL.03-3664-2031
https://ryukobo.jp/ Instagram@ryukobotokyo

江戸刺繍
Edo Shishu

廣瀬祥子
Sachiko Hirose

イメージを豊かにして図案や色と対峙する



積み重ねた経験、磨き上げた技術——子どものころから、そんな職人たちが格好よく見えた。自らを振り返れば、職人として江戸刺繍の道に。着物、帯、和装小物などを彩る江戸刺繍は、図案や配色、使う糸の強弱など豊かなイメージが求められる。手間のかかる仕事だが、思い通りに仕上がった時の喜びは費やした時間を忘れさせてくれる。



額「花籠」

連絡先 〒275-0014 千葉県習志野市鷺沼3-5-31
TEL.047-451-8657

東京彫金
Tokyo Chokin

小川真之助
Shinnohke Osawa

「これぞ小川の彫金」と言われるべく日々研鑽



自分のことを私ではなく「私達」と言ってしまう。私達とは、先代、先々代を含めてのこと。常に共にあるという思いがある。道具も受け継いできた。「東京彫金」は伝統的な道具である「タガネ」を用いた金属彫刻。彫る模様は花鳥風月にわたり、彫りそのものにも作家性が表れるのが特徴。人の手でしかできない技にこだわり続けている。



ききょう帯留

連絡先 〒166-0012 東京都杉並区和田3-8-13
TEL/FAX.03-3381-9859
https://ogawachokin.com/

伝統にとらわれず、
伝統を創りだす。

東京銀器
Tokyo Ginki

中野隆行
Takanuki Takafusa

伝統の技術で若手の底力を見せたい



ジュエリーの製造、加工を経験し現職に。今は銀食器(カトラリー)をメインに、アクセサリなどの製造を手掛ける。ものづくりは親から、ファッションは姉から影響を受けたと話す。「造形」の難しさや「伝統技法」の面白さなどを体験し、さらに高度な技法習得を目指す。「伝統工芸で若手の底力を見せたい」と静かに燃えている。



月型 小物入れ

連絡先 〒336-0035 埼玉県さいたま市南区松本4-13-8
株式会社百華
TEL.048-844-5858
E-mail:info@hyakumu7.com

東京額縁
Tokyo Gakubuchi

栗原大地
Tsuruta Daichi

額縁から飛び出した、職人クリエイター



学生時代から美術館が好きで、就職活動時に富士製額を見学したことをきっかけに入社。ゼロから額縁製造を学び、現在13年目。額縁は作品を引き立てるのが役割だが、額縁だけを飾っても存在感のあるものづくりを目指す。また、テレビを飾る額や額縁を思わせる名刺入れなどを製作。常識にとられないクリエイター気質で業界を牽引する。



DRIP FRAME

連絡先 〒116-0001 東京都荒川区町屋6-31-15
株式会社富士製額
TEL.03-3892-8682
090-2468-6942(担当 栗原)
E-mail:frame.da1@gmail.com

江戸更紗
Edo Sarasa

中條康隆
Yasunaka Yasafusa

江戸の美を未来につなぐ型染めの名手



24枚の型紙を少しの「ズレ」もなく重ね、手染めしていく。複雑に色が重なる紋様の美しさには、幼い頃から油絵で培った色彩感覚が生かされる。天候、温度、湿度によって蒸し時間を秒単位で変えるのも職人の技だ。伝統色の濃い赤やえんじ茶をあえて使わず、軽快なブルーで染めた若者向けの製品作りなど、日々新たな可能性を追求している。



江戸更紗 家庭で洗えるシルクストール

連絡先 〒131-0041 東京都墨田区八広2-27-10
有限会社大船染工場「江戸更紗」
TEL.03-3611-5019

江戸硝子
Edo Garasu

野崎宏祐
Nosaki Hiroyuki

努力を惜しまず日々進化し続ける



現在は、溶かしたガラスを棒で巻き取り、金型に流し込む作業を主に担当。大切なのはガラスの目方にバラつきがないよう調節すること。少しの差で出来上がりに違いが出てしまうからだ。難しい作業のときは早めに社出し、ひたすら反復練習。「ガラス食器はハンドメイドが一番だと伝えたい」と語る若き職人は、常に腕を磨く努力を惜しまない。



招福杯富士山冷酒杯揃い 金白金あかね

連絡先 〒103-8373 東京都中央区日本橋馬喰町2-1-3
東洋佐々木ガラス株式会社
TEL.03-3663-1211

江戸硝子
Edo Hyogu

増田早紀
Saki Masuda

灼熱の硝子に、追い求めた輝きを吹き込む



1400℃の炉の中で灼熱色に溶けた硝子が日々の相手。吹き硝子による切子の生地づくりや、金箔をあしらったガラスの成形などに携わっている。柔らかい硝子が輝きながら形を変えていく姿に魅了され、この仕事を選んだ。自分が手掛けた商品が店頭で並んでいるのを見つけると、また違った姿や表情に見えてくるのも醍醐味のひとつ。



「冷酒揃」冷酒杯&水ポケット付きカラフェ 金彩

連絡先 〒103-8373 東京都中央区日本橋馬喰町2-1-3
東洋佐々木ガラス株式会社
TEL.03-3663-1211

江戸表具
Edo Hyogu

高橋育実
Tsumi Yuumi

伝統の技を受け継ぎ、作品に光をあてる



大学で受けた和紙の講義をきっかけに、自分が学ぶ染織と、家業である表具の仕事につながるのを感じ職人の道へ。表具はあくまで絵や書を引き立てるもの。それゆえ型(きり)に和紙を貼り付ける「裏打ち」と呼ばれる基礎の作業がその良し悪しを決める。「恥ずかしくない職人でありたい」と謙虚に話す若き匠に伝統を受け継ぐ覚悟が垣間見える



掛軸 三幅対

連絡先 〒110-0015 東京都台東区東上野4-10-14
第2東ビル402
一般社団法人 東京表具経師内装文化協会
TEL.03-5826-1773
http://www.tokyo-hyogu.jp/